

安達太良山山行報告書

(山域) 安達太良山

(日時) 12月30日(土曜日)～12月31日(日曜日)

(コース) 12/30: あだたら高原スキー場～勢至平～くろがね小屋～峰の辻手前～くろがね小屋

12/31: くろがね小屋～安達太良山～薬師岳～あだたらスキー場

(天候) 12/30: 曇り・時々雪(風強し) 12/31: 晴天

(参加者) CL: 内堀(記録)・小宮山・会員外: 吉武

(山行タイム)

12/30: スキー場 9:35～勢至平 10:35～くろがね小屋 11:50/13:40～峰の辻手前 14:50～
くろがね小屋 15:30

12/31: くろがね小屋 8:05～峰の辻 8:50～安達太良山 9:30～薬師岳 10:45～スキー場 11:55

(山行報告)

12月30日(土)

久々の雪山である。ヘルニアの手術をしてからリハビリ山行2回(日の出山北尾根・他)を経て、今回安達太良山の冬山山行である。12/23 くろがね小屋に連絡して、たまたま宿泊が出来る事が判り予約を入れる。出発は小宮山車にて吉武さんを拾い、内堀宅側のコンビで待ち合わせする。富里ICより東関東道に乗り大栄JCTにて圏央道に入り、つくばJCTで常磐道・磐越道を進み、郡山JCTで東北道の二本松ICから一気にあだたら高原スキー場に向かう。岳温泉までの道路に雪が無く順調である。その先の道路から徐々に道路に雪が現れ、慎重に登っていくとあだたらスキー場に到着する。急いで準備を進めるが中々進まない。スキー場でこの風である、ようやく準備が整い。出発する。皆さん重装備の服装である。スキー場から脇の登山道に入ると風は急激になくなる。風がなくなると急に熱くなり汗が出てくる。林道から登山道に入ると傾斜がきつくなり更に汗が出てくる。つぼ足で一步一步登るが久々の雪山で、今までと感じが違う。バテそうである。登山道は踏み固められ歩きやすい。多い所では膝上まで踏み固められていた。ぶつぶつ思いながら歩いていたら少し開けた場所に到着する。ここが勢至平である。初めの1本を取る事にする。休憩後はなだらかな登山道を進むと山を巻くように進むとくろがね小屋が見えてきた。やれやれである。安達太良雪山6回目であるが一番疲れしました。

小屋にて昼食を取り、安達太良山に登るか考えて、荷物をデポしようとして小屋の方をお願いすると13時から宿泊手配できる事から少し待って宿泊手配する。今回は3階ではなかった。

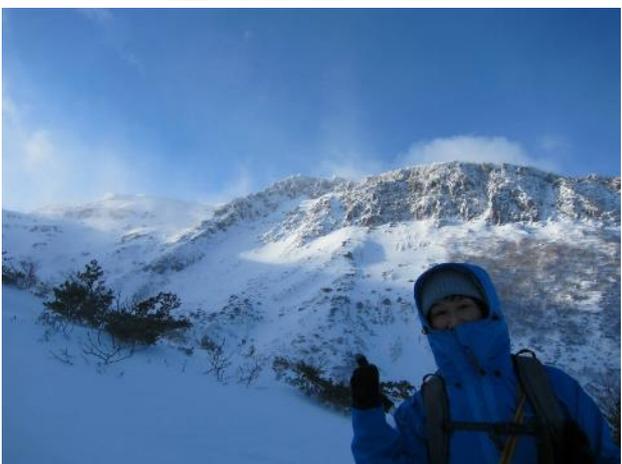
外の風は相変わらず吹いているが朝がより少ないため、途中まで行く事にする。今回雪山初めての吉武さんのため、ロープをつなげる。小屋からのコースはトレースがほぼ無い状態であるため、時間を考慮して、わかんを装着して進む。私は始めて使うスーパかんじきで進むが、中々要領を得ず急登を上手く登れず、悪戦苦闘しながら進む。前日までの雪でわかんでも結構沈み込む。ゆっくり登り続け峰の辻手前(トラバース入口)で風が強くなってきたので、本日の歩きはここで終わりとする。天気は意外と良く青空が見えたりする。安達太良山の乳首がクッキリ見えている。各々記念撮影を終わらせ下山する。帰りは早く30分程度で小屋に到着する。登山靴を脱ぎアウターを引っ掛け、お風呂に向かう。この時間帯は誰もいなく独り占めの温泉を楽しむ。冷えた体を温め本日の疲れを取る。温泉後は、時間が早いから16:30頃から夕食の準備に入る。場所を早めに確保したせいかテーブルで宴会が開始できる。

まずはビールで乾杯をする。1杯目の吸い込みは早くあつという間にコップが空いてしまう。

小宮山さんの食当ということで、ブタ鍋・ポテト・チキンサラダと並べられる。ポテトは粉末ポテトをお湯にコンデンスミルクを入れ、溶かし、具材を入れるとポテトサラダの完成である。

食べた感想はポテトサラダそのものであった。あの粉がポテトサラダになるとは以外である。美味しい。食べながら酒盛りが続けられ、小屋で夕食を食べている方々が終わり、最後の宴会メンバーになってしまい、それでも宴会は続けられ、最後に酒が無くなり終わりかと思いきや、赤ワインを購入して少し続けられた。もう飲めませんと思いつつ時間も20:30を過ぎ消灯時間前に

お開きとなる。長い宴会でした。部屋に戻り爆睡してしまった。



12月31日（日）

早朝6:00頃に目が覚めた。朝食は小屋食にしたため、6:30からの開始で時間があり、布団をたたみ、出発準備をするためザックに詰め込む。6:30になり朝食の合図が響き渡る。1Fに降りて朝食を頬張る。昨日残りに鍋を少し食べたため満腹である。今回は食べ過ぎ・飲みすぎである。これから体が動くのか少し心配になる。皆さん早々に出発して行く。我々は歯磨き・トイレとゆっくりこなし、ようやく出発出来るようになるのが8:00少し前である。天候もかなり良さそうである。朝方で雪も締まっており、トレースもバッチリである。わかんを止めアイゼンを装着して、出発する。昨日と違い雪が締まりアイゼンの効きが良い。斜面をゆっくり登り、昨日来た場所を難なく通過する。トラバースを終えると、そこは峰の辻である。ここで記念撮影をして出発する。風は少なく天気も良い。こんなに風の無い安達太良山も珍しい。峰の辻から安達太良山の稜線までは一気に駆け上がり、あっという間に到着する。やはりアイゼンでの登りは早い。最後の乳首登りは右側から登り難なく山頂へ到着する。山頂はやはり風が少し吹いている。記念撮影と周りの景色を見ると、磐梯山、吾妻山、飯豊連邦や蔵王と見え、今まで見た景色に中で一番かも。山頂渋滞と風もあるため、一路下山する。今回、くろがね小屋往復ルートは避け、尾根コースを進む。このコースは見晴が良く気持ちが良い。薬師岳の所で、記念撮影を楽しむ。最後の安達太良山景色を堪能する。少し降りた場所で最後の休憩を行う。休憩後は、下山するとスキー場のコースに出てくる。上部のリフトは動いていない。更に下山すると、何時もの林道に出てあと少しの所まで来る。その先に駐車場があるが昨日違い、車が多い。昨日停まっていたバンは無くなり、普通車であった。時刻を見るとお昼前である。登山靴含め帰り支度を整え、岳温泉にて入浴する。帰りは駒寄のソースカツ丼と思い、向かうが店の主人から31日終了と宣言され、肩を落とす。致し方ないので二本松まで降りて完熟ラーメン店に入り、遅い昼食を食べる。帰りは安達太良SAでガソリンを入れて一気に帰路につく、天候が心配されたが、二日目は穏やかな天候で今シーズンの雪山が堪能できた事は、幸先良いスターとなった。







以上